

刈り草コンポスト化センター環境整備事業

予算額 1億3,185万円 / 廃棄物対策室

刈り草コンポスト化センターの民間委譲を円滑に進めるため、閉鎖後のし尿処施設の解体・撤去を行います。また、コンクリート舗装や排水処理施設などの環境整備を行います。

地域医療連携システム導入事業

予算額 1,950万円 / 医療センター医事管理室

県内複数の医療機関、介護施設と患者の情報を共有できる地域医療連携システムを導入し、地域医療提携体制の整備を進めます。

空家等活用・対策事業

予算額 176万円 / 営繕住宅室

空家の活用を促進するため、空き家情報バンク制度を利用し、また、管理不全状態の空家など周辺に悪影響をおよぼす空家に対し、適切な措置を行います。

ワーク・ライフ・バランス推進事業

予算額 58万円 / 共生社会推進室

新しく「亀山市ワーク・ライフ・バランス推進週間 [11月11日(土)から26日(日)までの16日間]」を設け、市民一人ひとりや事業所にワーク・ライフ・バランスを意識、実践していただく機会とします。

高速交通促進事業

予算額 561万円 / 企画政策室

リニア中央新幹線の全線早期開業に向け、関係機関と推進活動に取り組むとともに、市内停車駅誘致に向けた情報収集および基礎調査として、先進地自治体などへの視察や経済波及調査を行います。

地域人材キラリ育成事業

予算額 1,542万円 / 生涯学習室

地域での学びを深めて、地域で活躍できる人材を確保していくために、中央公民館講座・行政講座・市民大学をフィールドに人材育成を進めます。

地籍調査事業

予算額 547万円 / 用地管理室

土地利用の促進や大規模災害に備えるため、所有者や地番、境界、地積などに関する調査を行い、地籍の明確化を進めます。

生活困窮者自立支援事業

予算額 1,891万円 / 地域福祉室、学校教育室

生活困窮者自立支援法が施行されたことに伴い、生活困窮者の自立の促進を図るため、自立相談支援事業、住宅確保給付金、家計相談支援事業、学習支援事業に取り組みます。

年収約420万円の
家計に例えると…
(市予算の1/5000)

5万人の台所事情

亀山家(市)の家計簿

平成29年度の一般会計予算を5,000分の1にして、家計簿に例えてみました。市のさまざまな種類の歳入と歳出があり、一般の家計とは少し違った内容になっていますが、亀山家(市)の年間の家計簿をつくってみると…

収入		支出	
	28年度からの増減		28年度からの増減
現金収入合計	346万円 (-5万円)	生活費用合計	299万円 (-6万円)
給料(基本給)	211万円 (-1万円)	食費	66万円 (0万円)
▶ 市税、分担金および負担金		▶ 人件費	
給料(諸手当)	58万円 (-2万円)	医療費	62万円 (-2万円)
▶ 地方交付税、譲与税・交付金等		▶ 扶助費	
パート収入	13万円 (0万円)	光熱水費などの雑費	103万円 (3万円)
▶ 諸収入、使用料・手数料		▶ 物件費、補助費等	
祖父母からの仕送り	64万円 (-2万円)	車などの修理代	10万円 (-1万円)
▶ 国庫支出金、県支出金		▶ 維持修繕費	
ローン(借入金)	46万円 (+15万円)	教育費	58万円 (-6万円)
▶ 市債			
貯金の取り崩し	27万円 (-5万円)	子どもへの仕送り	36万円 (1万円)
▶ 繰入金		▶ 繰出金	
繰越金	2万円 (0万円)	ローンの返済	45万円 (1万円)
▶ 繰越金		▶ 公債費	
		家や庭の建築・改修	38万円 (9万円)
		▶ 普通建設事業費、災害復旧費	
		貸付など	1万円 (0万円)
		▶ 貸付金、投資および出資金	
		貯金など	2万円 (0万円)
		▶ 積立金、予備費	
収入合計	421万円 (+5万円)	支出合計	421万円 (+5万円)

平成29年度の家計は…

家計簿をしっかりチェックして、収入に見合った支出を心がけたいね。



収入は、昨年度に比べて基本給および諸手当が減る見込みです。
支出では、生活費の医療費・教育費は減ったものの、家などの改築・改修が増えているため、収入の不足分は貯金をあまり取り崩さずに、ローンの額を大きく増やしたことにより補っています。
このような中で、来年度以降も給料の減少が見込まれており、節電や節水に努めるのはもちろんのこと、その他の出費についても無駄がないか徹底的に見直して節約します。また、貯金の取り崩しは最小限にとどめ、ローンを借り入れることにより支出の平準化を図り、家計の安定に向けてより一層の努力していきます。